

商工費 (4.0%) 1億5,469万円	
南木曾駅運営経費	400万円
観光協会補助金	1,000万円
小規模指導事業補助金(商工会)	450万円
新型コロナウイルス感染症対応	4,420万円

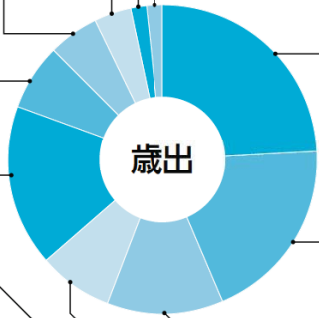
衛生費 (5.3%) 2億461万円	
予防接種事業	927万円
母子衛生事業 (不妊治療、乳幼児健診、歯科健診等)	422万円
健診事業 (がん・さわやか・いきいき等)	757万円
美しいまちづくり・ポイ捨て監視事業	173万円
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種経費	2,905万円

出産助成金50万円に
引き上げ
補聴器補助

消費費 (1.6%) 6,289万円	
消防団運営経費	3,505万円
防火水槽設置(夏焼地区)	940万円
軽積載車整備 1台	630万円
広域消防負担金(消防指令台リース等)	620万円
ヘリポート舗装(天白公園)	525万円

その他 (1.6%) 6,318万円	
・議会費	3,564万円
・予備費	2,455万円
・労働費	299万円

総務費 (24.4%) 9億3,853万円	
集会所整備事業(4か所)	101万円
空き家対策経費(移住体験住宅修繕)	350万円
参議院議員選挙経費	488万円
基幹統計調査(経済センサス等)	56万円
新型コロナウイルス感染症対応	4,018万円



最優先はコロナ対策・関連事業

農林水産業費 (6.9%) 2億6,402万円	
中山間地域直接支払制度交付金	3,541万円
多面的機能支払交付金	661万円
国土調査事業	1,338万円
農業用水路改修 1か所	1,200万円
林業振興 (新・バレットストア補助)	50万円
有害鳥獣対策事業(実施隊等)	878万円

教育費 (16.8%) 6億4,796万円	
小中学校健康診断委託	111万円
蘇南高校支援事業	1,083万円
小学校駐車場整備	4,000万円
歴史の道整備事業(神明)	1,364万円
町並み交流センター建設事業	24,246万円
総合型スポーツクラブ補助金	250万円
重要伝統的建造物群保存事業	705万円

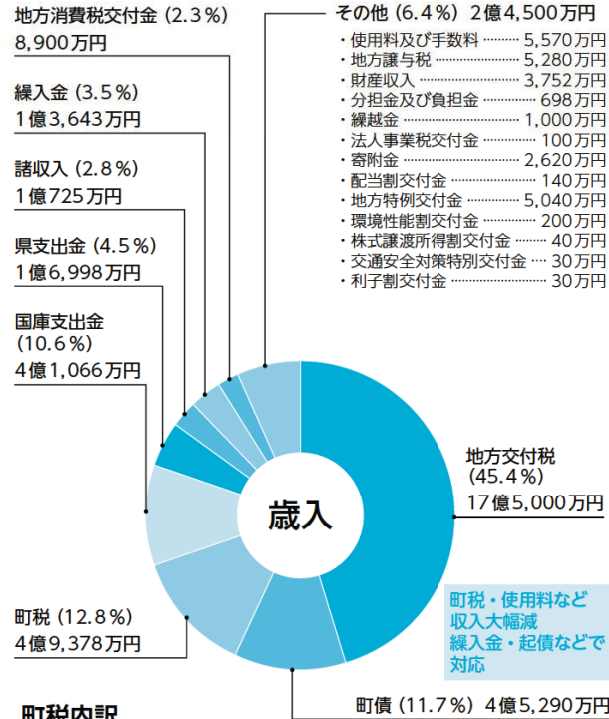
妻籠に木造の交流センターなど

民生費 (19.3%) 7億4,470万円	
広域連合負担金(木曾寮建設事業)	1,561万円
介護予防・日常生活支援総合事業	1,044万円
生活支援体制整備事業	757万円
読書保育園改修(子ども園準備)	3,000万円
乳幼児・児童医療費	9,500万円
児童手当	4,760万円
新型コロナウイルス感染症対応	1,080万円

公債費 (12.2%) 4億6,910万円

土木費 (7.9%) 3億532万円	
町道舗装事業(川向下線他2路線)	4,760万円
町道新設改良事業(大原線他2路線)	12,400万円
橋梁維持補修事業 (岩倉橋、桃介橋修繕等)	7,190万円
住宅リフォーム補助金	225万円
町営・公営住宅改修(和合・和合南団地)	966万円

一般会計予算総額 38億5,500万円



地方消費税交付金 (2.3%)
8,900万円

繰入金 (3.5%)
1億3,643万円

諸収入 (2.8%)
1億725万円

県支出金 (4.5%)
1億6,998万円

国庫支出金 (10.6%)
4億1,066万円

町税 (12.8%)
4億9,378万円

町税内訳

税目	予算額	構成比
固定資産税	3億2,935万円	66.7
町民税	1億2,531万円	25.4
町たばこ税	1,750万円	3.5
軽自動車税	1,481万円	3.0
入湯税	681万円	1.4
	4億9,378万円	100

特別会計予算総額 4億3,060万円

会計区分	予算額	対前年度増減率
南木曾町国民健康保険特別会計	3億1,809万円	△6.4
南木曾町妻籠宿有料駐車場特別会計	2,709万円	△8.9
南木曾町宅地造成事業特別会計	467万円	△0.2
南木曾町後期高齢者医療特別会計	8,075万円	△1.6
特別会計合計	4億3,060万円	△5.6

令和3年度 当初予算

令和3年度の一般会計当初予算額は38億5,500万円、前年度当初予算と比較して2.8%の減となりました。これはF・I・H化事業の大型事業が完了したことによる負担金の減などによるものです。

歳入については、新型コロナウイルス感染症の影響から町税は前年度と同額を計上し、地方交付税は17億5,000万円を計上しました。使用料は観光等の利用の減少から新交通システム、博物館使用料等の減により2,032万円減額の5,286万円を計上しました。

歳入については、新型コロナウイルス感染症の影響から町税は前年度と同額を計上し、地方交付税は17億5,000万円を計上しました。使用料は観光等の利用の減少から新交通システム、博物館使用料等の減により2,032万円減額の5,286万円を計上しました。

分野別の主たる事業として、総務・民生・商工費において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を計上したほか、消防・防犯分野ではヘリポート整備費、消防指令台リース負担金、教育文化分野では妻籠町並み交流センター建設事業、保健福祉分野では新型コロナウイルス感染症ワクチン接種経費を計上しました。生活環境分野では、町営・公営住宅改修事業などを計上しました。

特別会計は、上水水道4会計を地方公営企業法に基づき事業会計へ移行したことから、6会計から特別会計(国民健康保険、町営妻籠宿有料駐車場、宅地造成事業、後期高齢者医療)となり総額で4億3,060万円を計上しました。(前年比5.6%減)

※上下水道4事業会計は次号(6月号)で詳しく掲載します。